

# 夕刊 警城時報

行發日三十

編輯発行 岡田 弘成  
印刷 岡田 弘成  
印刷所 警城時報社  
電話 二二二二  
行所 警城時報社  
一部金貳圓 一月月金廿圓  
廣告料 一行十四字計五十圓  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 江筋の地下採掘に反対 組合から陳情書提出

### 平市地下採掘問題にも影響

警城小川江筋水利組合では日曹  
礦業所で水路の地下採掘を行う  
てゐるため水路の陥没を憂ひ採  
掘に反対する事を過去の最高幹  
部会で決定した事當時陳情の通  
りであるが、左の如き反対陳情  
書を仙臺鎮山監督局並に福島縣  
知事宛に提出一方日曹礦業所本  
社にも同様の趣旨で採掘を中止し  
て貰ひ度いと陳情した。平市地  
下採掘問題もあり成行注目され  
てゐる。

第三二〇號區域を日下採掘中  
の由に候處其區域中に當組合  
の水路及灌漑地區中下小川村  
大字關場、下小川、平市大字  
上平窪、中平窪、下平窪、中  
上平窪、赤井村大字赤井中  
等包含しあり同區域は多く軟  
弱地層にして昭和十一年五月  
中市大字上平窪、中平窪地  
内の陥没透水の事實あり右地  
下の石炭を採掘する時は地盤  
の陥没、透水等は必然の事に  
して結果灌漑不能遂に收斂皆  
無となり其被害甚大なるもの  
有之、灌漑民は塗炭の苦境に  
陥り加之食糧増産の國策の下  
に多大の経費を投じたる改良  
工事一朝にして水泡に歸す  
事となる次第に御座候、右  
事實御調査の上事情等と御審  
議を仰ぎ惨害を未然に防止す  
る爲同區域の石炭採掘中止候  
様御高配を賜はり度此段及上  
中候也、  
仙臺鎮山監督局長殿  
福島縣知事殿

## 青年訓練査閲に 全員出席希望

### 八割五分の出席者がなければ 取止めと強硬通牒

石炭礦採掘に付上申書  
當組合は今去る二百六十餘  
年前、慶安年間義人澤村勝爲  
が生命を賭し開墾に當り三年  
有余を費し遂に完成し今日に  
至りたるものにして、灌漑區  
域は下小川村、赤井村、平市  
神谷村、草野村、大浦村、大  
野村、四倉町に跨り反別千二  
百三十四町歩、古來水路中の  
透水和崩壞箇所多かりし爲  
組合は多大の経費を投じ年々  
補修をなし來りたる處偶々政  
府の食糧増産の計あり福島縣  
は昭和八年より農業水利改  
良事業六ヶ年續行工事として  
農林省の補助を受け施行し昭  
和十三年度を以て完成し茲に  
三千の組合員は全く卒野の業  
を一緒し安堵其の業に勤みつ  
く有之候。然るに東京市警務  
隊大平町二(八)七日日曹礦業  
株式会社は石炭採掘の許可を  
受け採掘権登録第一七七號同

## 市内各校で 結核豫防講演

令旨奉休結核豫防國民運動週  
間は十四日から行はれるが平市  
各學校では令旨奉讀、尋常五年  
以上の児童には平第一校では青  
沼平保健所長その他各校では校  
醫その他の講演がある。

## 統計主任會 準備打合

平市農會及び石城郡農會では聯  
合して農産物品評會は近く平市  
公會堂に開くが十五日午前十時  
から關係者が準備打合せを行ふ  
以上の子童には平第一校では青  
沼平保健所長その他各校では校  
醫その他の講演がある。

## 四倉町に咲いた 應召家族の美談

四倉町町長長谷川定吉翁(六六)が父定吉氏は約六十余日  
七)は永らく病床にありしも一に亘りての病氣中も出征の子  
昨十一日死亡したが翁の長男陸供二人には一通だに病氣の報も  
十二年七月下旬應召せられ目下して知らず、尙死亡したる際、決  
北支〇〇方面の戦線に活躍中で  
族の者に云ふ傳ひてあつたので  
今の死亡も戦地の子供二人に  
月應召せられ目下中支〇〇方面  
の第一戦に活躍中、留守宛には  
死亡した父定吉氏母子と姉に  
妻ムメさんと長女の五人暮して

## 平營林署優勝 濱三郡對抗軟式野球

濱三郡五營林署對抗軟式野球  
組合は十二日午前九時から市内  
城中學校球場で舉行、結果左の  
如く平營林署優勝した  
▲第一回戦  
濱江一(五)一〇原町  
▲第二回戦  
植田二(一)〇富岡  
▲決戦戦  
平二(一)一三植田  
(審判熊、石坂、水竹、坂井)  
四倉在郷軍人分會にては去る十  
一日分會員約四十餘名が目下  
中の四倉樂業作業に従事したが  
市内植田町農家の副業である  
木村守江分會長を始め各會員は

## 養蠶同業 組合長會

植田方部二町五ヶ村に亘る三十  
餘名の養蠶組合長會は石炭礦  
組合植田集居所に開き速成蠶園  
設置に関する件、外兩産計課  
に關する件外五件を協議し尙十五  
年度の蠶品評會を植田町に開催  
すべく誘致方法を打合せた。

## 加納活版所

希望者は御談あれ  
右至急募集す  
文撰工 數名  
女徒 數名  
希望者は御談あれ  
加納活版所

## 傳食馬 檢診日割

石城郡馬畜産組合では十四日か  
ら二十六日迄左記日割で馬の傳  
染性血膿防檢診を行ふが檢診  
者は三縣技手である  
▲十四日 十六日 入道野 ▲十  
七日 十八日 上道野 ▲二十二  
日 二十三日 永戸 ▲二十四日  
二十三日 阪邊渡村

## 忠靈塔資金 六圓八〇錢

平市愛國婦人會による忠靈塔建  
設資金各町別は既に既報の通りであ  
るがその後の分は  
一三四 月見町  
六四八〇錢 鎌田町  
五八四四〇錢 南町  
總額五百七十一圓五十二錢と  
なつた

## 名刀「和泉の守」を 振ふ日を待つ

此の街は敵の襲撃を受ける。こ  
とはあるまい、又彼等が襲來  
を試みたところで我に十倍二  
十倍の兵力ではどうするこ  
も出來ない、私は此處に参り  
ましたから過般一度出動致し  
なれることが出來ればがよい  
なれたら、名刀「和泉の守」を  
振つて戦ひを交へることは當  
分の間無くなつたわけではな  
い、我は此處から又引續き大  
作戦が展開されることになり  
ます、只今も城外では少な  
らず彼等の銃砲聲が聞えて居  
ります、然し戦況はと云ひば  
り、現在の戦況を如何ともし  
ることが出來ればこそで

## 廣 告

朝七時半より午後三時迄努力作  
をなした金を近く銃剣衛防具を  
購入する資金とすることである  
傳食馬  
檢診日割

